

病院国際事情レポート

～タイの感染症対策～

市立川崎病院には感染症病棟(2類)があり、地域の感染症医療に取り組んでいます。地域医療を担う医療機関として、近年、国外旅行等での感染など国内ではあまり症例のない疾病への取り組みなど、医療も国際化への対応が求められています。今年、感染症科の医師がその専門性を高めるため、タイへ海外研修を行ってきました。皆さんの国外旅行での参考になるよう、本誌で報告をします。

長崎大学で熱帯医学修士コースの一環としてタイに4週間滞在し、バンコクの小児病院、感染症病院、保健省、国立衛生研究所等を視察し、ランパン(北部)の公立病院で研修してきました。タイで、よく日本人に知られている感染症といえば、デング熱・感染性腸炎・HIV感染かと思えます(薬剤耐性のマラリアは有名ですが、実際はミャンマーとの国境付近に限られています)。デング熱は、蚊によって媒介されるウイルス性発熱疾患です。軽いものは感冒程度ですが、出血熱を起こし、ショックとなることがあります。この病気の媒介蚊は農村にも都会にもおり、日中活動しますので、どこでも感染する危険があります。ワクチンはなく、忌避剤(虫除けスプレー等)を使って蚊を予防することが好ましいです(日本の忌避剤はDEET含量が低いので、現地調達がお勧めです)。

この病気の場合は、輸液管理(輸血を行うこともある)以外の治療法はありません。タイは他の途上国に比べると衛生状態が良く、チフス・パラチフス・アメーバー・赤痢が原因の下痢は少ない方だと思いますが、日本人が旅行をするときは、飲料水や食品には注意することが必要かと思えます。大腸菌、疲労やスパイスによる旅行者下痢症は、タイ帰りの人にも多く認めます。

HIV感染症はバンコクだけでなく、ランパンやパヤオといった北部によく見られます。現在は自国(タイ)生産のGP0vir(3つの薬の成分が一錠に入っている薬)2錠/日での治療が無料で行われています。結核・クリプトコッカス(鳩の糞にいるカビ)・トキソプラズマ(猫の糞にいる原虫)による日和見感染の数が多いようです。その他、熱帯地でよく見られる疾患として寄生虫症がありますが、外来で直ぐに薬を処方するため入院患者さんには見られませんでした。また、日本に少ないレプトスピラ症やメリオイ

ドーシスの蔓延もあるようですが、検査に時間と費用がかかるため診断的治療を行っていました。医療面での日本との大きな違いは、入院期間とプライバシーの考え方にありました。例を挙げるなら、日本では14日以上入院しながら治療するクリプトコッカス髄膜炎も、3日～4日で退院となり、外来や地方の保健所(医師はいない)で点滴治療の継続をしていました。内科大部屋は8人一列で6列(48床程度)になっており、患者さんへの病気の説明はベッド脇で行っており、(暑いためか)検査はカーテンを閉めずに行っていました。タイはアジアの中では先進国ですが、日本では珍しい病気も多くあります。今後は、この研修で学んだことを活かし、当院の感染症治療を充実していきたいと思えます。

感染症科医長 中島由紀子

ボランティアしてみませんか?

あなたのやさしい心を求めています。

【活動内容】

- ・外来案内のお手伝い
- ・小児科病棟にて読み聞かせと遊び相手
- ・つつじ文庫の整理・整頓・清拭
- ・その他

【条件】

- ・心身ともに健康な方
- ・ヘルパー3級以上をお持ちの方又は同等の講習を受けた方
- ・18歳以上の方
- ・川崎近郊にお住まいの方
- ・月1回、1時間以上活動できる方

【問い合わせ先】

川崎市立川崎病院看護管理室
Tel (044)233-5521 内線3150

くすの木

平成20年1月23日発行(第13号) 発行責任者:中村 薫 編集:広報委員会
事務局:川崎市立川崎病院庶務課 川崎市川崎区新川通12-1 電話044-233-5521
<http://www.city.kawasaki.jp/83byoin/kawasaki/index.html>

川崎市立川崎病院
シンボルツリー

川崎市立川崎病院の基本理念

川崎市立川崎病院は、自治体病院として、市民に最善の医療を提供し、地域の皆様の健康と福祉の向上に貢献することを目指し、その目的のために職員の和とたゆまぬ研究心をもって、次のことを実践してまいります。

- 1 「病気」ではなく「病人」を診る患者さん中心の医療
- 2 地域の基幹病院として、質の高い医療を提供
- 3 健全な経営基盤の確立

【患者さんの権利】

1. 生命の尊重と、人格を尊重した医療を受けることができます。
2. 安全で安心できる良質な医療を受けることができます。
3. 患者さんご自身の病気や治療について、わかりやすく、また、十分な説明と、その情報の提供を受けることができます。
4. 希望や意見を述べていただき、診療方法については自らの意思で選択あるいは拒否することができます。
5. ご希望により、診療のいかなる段階においても、他の医師の意見を聞くことができます。
6. 診療上の個人情報保護され、その秘密は守られます。

市立川崎病院のボランティア活動 やさしさに支えられています

市立川崎病院では、院内のボランティア推進委員会がサポートを行い、様々なボランティアの方に活動をしていただいています。現在は、外来案内や小児科病棟での絵本の読み聞かせや遊びの相手、一般病棟での食事のお世話、患者図書「つつじ文庫」の整理など、熱心に病院内で活動されており、ボランティアの方々の優しさに病院が支えられています。また、日ごろの活動と合わせて様々な院内行事へのご協力をいただいていますので、いくつかご紹介します。

【クリスマス会】

小児科病棟の入院患者さんに向けたクリスマス会へのご協力をいただいています。昨年はマジックやバルーンアート、手作りのプレ

ゼントで子ども達を喜ばせてくれました。【ミニコンサート】秋にはボランティアの方々のご協力でもニカ演奏と語りを行いました。優しい音楽と語りで、入院患者さんたちがほっとするひとときが持てました。また、毎年、ボランティアの方々に対象に研修会を行っています。今年は、救命救急センター伊藤先生による「救急処置」についてと食養科管理栄養士 山元さんによる「生活習慣病予防のお食事」について講演を行いました。

市立川崎病院では、このようなボランティア活動をともにしていただける方を随時募集しています。詳しくは、本紙4面の募集のお知らせをお読みください。

編集後記

「くすの木」第13号をお届けいたします。ますます寒くなってきましたが、寒さに負けず健康にお気を付けください。(広報委員会)

動悸のある方、不整脈を指摘された方 不整脈・心房細動外来を開設しています！

市立川崎病院の心臓血管外科では、動悸のある方や不整脈を指摘された方の診療を行うための「不整脈・心房細動外来」を平成19年7月に開設しました。今回は、その内容についてご紹介します。

心臓は、絶えず規則正しく収縮するのが本来の姿です。しかし、ご存知のように脈拍が不規則であったり、速かったり、遅かったりする人も多くみられます。この状態を不整脈と総称します。多くの人は1日中心電図を検査すると多少の不整脈が混ざっていますが、これは病的とはいえない状態です。病的な不整脈はその頻度が多い場合や1日中不整脈である場合、発作的に症状を伴う不整脈が出る場合などです。

心臓血管外科では、これらの不整脈に対処すべく本年7月から毎週火曜日の午前中に「不整脈・心房細動外来」を開設しました。また、本年4月から私、田口及び熊丸・森の3人での新体制になっていますので、ご挨拶がてら、この特殊外来のご案内をさせていただきます。

この外来では、すべての不整脈を扱っていますが、その中でも「心房細動」を重視した外来です。

心房細動は、心臓内の心房という部屋が不規則に震える現象であり、症状は胸がドキドキしたり（動悸）することも多いのですが、無症状の場合もあります。心臓のポンプ作用にとって不利なばかりでなく、危険な場合もあります。心臓内に血液の固まりができることが原因で脳梗塞（手足の麻痺を起こすことも多い）など重篤な疾患を合併することもあります。国民的に知られている元プロ野球選手・監督を思い浮かべる方も多いと思います。

心房細動に対して従来は投薬治療、電気ショックなどで軽快させる方法しかなく、治らないことも多いのが現状でした。しかし、近年は手術（メイズ手術）やカテーテル治療によって心房細動を治すことが可能になってきました。メイズとは英語で迷路のことであり、当初心房を切り刻んだことから名付けられました。最近では器具が発達し、高周波エネルギーによる焼灼によって簡単に、切り刻むことと同等の効果が得られるようになってきました。

当科では、従来から単独メイズ手術を含め、他の心臓手術と同時のメイズ手術にも力を入れています。もちろん、不整脈・心房細動外来を受診したら手術をされるというわけでは全くありません。幅広く、投薬治療から手術治療までを扱うことにより、

個々の患者さんに応じた最適の治療を提供してまいります。不整脈が心配な方、不整脈を指摘された方はご遠慮なく受診してください。



私どもの専門は、心臓と胸部大動脈（瘤及び解離）の外科ですが、各々の患者さん、ご家族にとって最適な治療を安全に提供することをモットーとしています。

このためには、当外来のような投薬治療を含んだ医療をも重視しています。循環器科と協力してこの10月から循環器当直を開始し、夜間の初療の一端を担うことにしましたが、これも患者さん主体の医療の先がけと自負しています。どうぞよろしくお願いたします。

心臓血管外科部長
田口 眞一

臨時看護職員募集 看護師・助産師を募集中

川崎市立川崎病院では、臨時的任用看護職員（看護師・助産師）を募集しています。希望される方は、次の要領でお申し込みください。

- | | |
|--------|-----------------|
| ① 職種 | 看護師・助産師（免許取得者） |
| ② 勤務時間 | 勤務時間等はお相談に応じます |
| ③ 勤務場所 | 川崎市立川崎病院 |
| ④ 休暇 | 期間・勤務時間に応じて有休あり |

お申込み・お問合せ：
当院看護部管理室へ直接お電話ください。
☎(044)233-5521(代)

詳細は、川崎市立川崎病院ホームページの「職員募集『臨時看護職員』」をご覧ください。

<http://www.city.kawasaki.jp/83byoin/kawasaki/index.html>

部門紹介

形成外科

形成外科は、現在、月曜から木曜まで午後15時から外来を行っています。初診・再診とも同じ曜日に受け付けています。曜日により、外来の場所が異なりますので、初診受付は2階の整形外科を通過してから案内を受けてください。扱う疾患は皮膚を中心とした、先天性疾患（口唇裂、口蓋裂、合多指症など）腫瘍（皮膚腫瘍、皮下腫瘍など）外傷（顔面骨折、顔面外傷など）が中心です。当院ではケロイドの手術治療を積極的に行っていますので、是非、ご相談下さい。

そのほかイボ、シミ、ほくろのレーザー治療（自費）なども施行していますので、気軽に受診して下さい。

形成外科部長 井上義治

季節の one point インフルエンザについて

冬本番ですね。この時季はインフルエンザの流行が気になるものですが、今回は小児科の中尾医師に、その対策について、お話を伺いました。

毎年流行的な広がりを見せるインフルエンザにはA型とB型があります。A型のウイルス粒子表面には赤血球凝集素(HA)とノイラミニダーゼ(NA)という糖蛋白があり、そのわずかな抗原性を毎年のように変化させるため、巧みにヒトの免疫機構から逃れ、毎年流行し続けるわけです。現在は、1968年に出現したA香港型及び1977年に出現したAソ連型が小変異を続けながらB型とともに世界共通の流行株となっています。

インフルエンザに感染すると1～4日の潜伏期の後、頭痛関節痛、咳鼻汁を伴う発熱がみられ、通常は無治療でも1週間以内に自然治癒します。重篤な合併症としては、高齢者や基礎疾患を持つ人に多い肺炎や、乳幼児にみられる脳症などがあります。

インフルエンザは咳、くしゃみ、つばなどの飛沫を介してヒトからヒトに感染します。

医療相談室

病気になると、健康な時に考えなかったような問題や心配ごとが色々起こります。医療相談室では、患者様の生活の質(QOL)を第一に考え、患者さんやご家族と同じ『生活者の視点』で、問題解決のお手伝いをいたします。

- ◆例えばこんなとき・・・
- ★医療費の支払いや経済的なことが心配
- ★保険の制度や福祉サービスを知りたい
- ★退院後の生活について相談したい
- などなど・・・

費用は無料です。ケースワーカーがプライバシーに配慮して対応いたします。

医療相談室は、1階(21番)で、受付時間は、平日の8時30分から17時までです。

医事課医療相談室

川崎市立川崎病院の情報や診療科・専門外来などについては、当院のホームページでご案内しております。

ホームページでは、その他にも新しい情報や皆様の健康に役立つ情報をお届けしていますので、ぜひ！アクセスしてください。
<http://www.city.kawasaki.jp/83byoin/kawasaki/index.html>

感染の機会を減らすためには、流行時に人混みに行かない、マスクの着用、うがいや手洗い励行などの防御策が有効です。また、感染してしまった場合の発症率及び重症化率の低下にはワクチン接種が有効です。毎年流行期に入る前にワクチン接種を受けるようにしましょう。

インフルエンザの様な症状が出た時には、ただの風邪だと決めつけずに医師の診察を受けましょう。診察の上、インフルエンザが疑われた場合の診断補助には、ウイルス抗原を検出する迅速診断キットが有用です。通常30分以内に結果が出ます。インフルエンザと診断された場合の治療薬としては、リン酸オセルタミビルとザナビルがあります。発症後48時間以内に服用することにより有熱期間の短縮が期待できます。これらの薬は医師の処方箋が必要です。

インフルエンザは発症後3～7日間、ウイルスの排出が続きます。周囲の人に感染させないためにも、この間はできるだけ自宅で安静にしましょう。また、咳鼻汁がある間は、マスクを着用するようにしましょう。